

螺旋の水

小林真紀子

薬一錠も通らぬまでに塞がったわたしのからだは
真夏でも水すら拒みもどしつづけた
夜間救急の白と緑の光のもと
やっと含んだ真清水は
銀河となってわたしを流れた